

医療・介護・障害者福祉報酬

トリプル改定「こころがポイント」

【前編】

今年、4月と6月に医療・介護・障害福祉報酬のトリプル改定が行なわれます。物価上昇に合わせた給与の引き上げが大企業を中心に行なわれていますが、医療・介護分野でもベースアップの原資として、診療報酬が改定されています。しかしながら、医療においては薬価も含めて全体として0・12%のマイナス改定となっており、物価高に見合う改善はされていません。介護分野では訪問介護でマイナス改定となり、医療・介護業界の担い手不足が深刻です。今回の医療・介護報酬改定について担当者の声をお届けします。

医療報酬改定について

サービス課 片野 裕子

が増える改定となっております。

入院時の食事負担増

2024年改定は、料や入院基本料、入院時物価高騰の影響・人材確保の食事基準額の引き上げ保の観点を踏まえ、診察など、みなさんの支払い

前回の2022年改定では、75歳以上の医療費の自己負担が、年収に応じて1割から2割とな

■入院時の1食あたりの食費負担額

区分	2016年 3月31日まで	2016年 4月1日から	2018年 4月1日から	2024年 6月1日から
①一般の方	260円	360円	460円	490円
②市民税非課税 (区分Ⅱ)	210円	引き上げなし		230円
③市民税非課税 (区分Ⅰ)	100円	引き上げなし		110円

これまでの自己負担の増額は、保険からの支払いを減らすことが目的で、食事基準額の自己負担額は30年で870円/日も引き上げられました。逆に、保険給付は760円引き下げられています。

今回の改定では、物価高騰のための引き上げで、1997年以来変わらなかつた病院報酬が1食30円引き上げられます。医療費の自己負担も増え、食事負担も上がり、皆さんの負担は増えるばかりです。

ほかにも不安が...

また、支払い面だけでなく、2024年12月には保険証をマイナ保険

証に一本化する動きもあります。現在、マイナ保険証を使用している方は少数です。

健友ネット集會 分散會報告

ひまわり病棟定期検査を 実施した症例報告

千秋病院 看護師
ひまわり病棟 河尻 祐奈



ひまわり病棟は、特殊疾患の病棟であり、神経難病・重度の意識障害・脊椎損傷などの患者が入院されています。

着いているため、患者の3割以上が5年以上入院している、ほぼ寝たきりです。病状の変化があまりないため緊急の検査がほとんどされなかつたり、一定期間ごとに検査を推奨されている項目が抜けてしまうことがあります。そのため、当病棟では1年に2回、誕生日とその半年後に定期的な検査を行なっています。

高年齢の方は、多くの病気を抱えていたり、内服している薬が多かったり、病気に加わった際も症状が出にくかったりします。定期的な検査をすることで、病気が早期発見でき、早めに治療することで簡単な治療で回復が見込めることも多くあるのです。



モルツク交流会 職員50名が参加

尾張健友会グループ共済会主催で、3月27日にモルツク交流会を開催しました。当日は11チーム

約50名が参加しました。開会式では、始球式や選手宣誓を職員・職員家族も交えて行ないました。



モルツクが初めての方も多かったですが、仕事を離れて盛り上がりました。日頃の業務から離れて、多くの笑顔を見ることができました。次回の開催は秋頃を予定しています。



新しい仲間を迎え 一泊二日のレクリエーション

今年度は新入職員28名を迎えました。新卒者向けには宿泊研修も復活しました。4月1

〜2日にかけて宿泊し、医療や介護の現場でのコミュニケーションを向上させるゲームや施設探索など、多彩なプログラムを実施しました。自分たちでレクリエーションを企画運営し、楽しむことができました。

今年の新人たちは非常に元気で、積極的に研修に参加し、チーム全体の活気を高めることができました。今後この勢いを継続させ、さらなる成長を目指していきます。

職員育成委員 沢田 美名



表彰式



選手宣誓